

広島市教育大綱改定案				資料
現行大綱	改定素案	改定案	修正意見等	
<p>はじめに</p> <p>未来を担う子どもの育成こそが、これからの広島の発展の礎となります。</p> <p>その子どもたちの未来は、無限の可能性を秘めたものであると同時に、社会環境が大きく変化していく中で、多くの困難が待ち受けるものでもあります。</p> <p>世界の状況を眺めれば、経済活動等のグローバル化が進むとともに、大規模な自然災害などをもたらす地球温暖化の進行、自国第一主義の台頭による国家間の緊張の高まりなどの地球規模の課題が深刻化しつつあり、持続可能な開発目標（SDGs）が国連持続可能な開発サミットにおいて採択されたように、人類社会の持続可能性を確保するため、世界各国が連携・協調して取組を進めていくことが求められています。</p> <p>また、A I の進化をはじめとする今後の急速な技術革新により超スマート社会（Society5.0）が到来し、人々の働き方や生き方にも大きな変化が起これると予測されています。</p> <p>国内に目を転じれば、急速に少子高齢化が進展し、本格的な人口減少社会に突入しはじめており、今後の我が国の持続的な発展のためには、人口の減少や構造変化の中でも社会・経済の活力を維持し得る地域社会システムの構築が求められています。</p> <p>本市では、こうした状況下において持続可能なまちづくりを進めるため、広島広域都市圏における市町の連携を強化するとともに、地域コミュニティを活性化し、共助の精神を基盤とした「地域共生社会」の実現を図り、これを基軸として、本市の都市像である「国際平和文化都市」の具現化を図っていきたいと考えています。</p> <p>また、子どもたちを取り巻く環境を見ると、家庭の形態が様々に変化する中、子どもの貧困の問題に加え、いじめの認知件数の増加やSNS等による誹謗中傷・差別といった子どもたちの心に関わる問題も懸念される状況がみられるなど、依然として厳しいものがあります。</p> <p>こうした状況の下でこれから成長していく本市の子どもたちには、いかなる境遇の下にあっても困難を乗り越え、夢や希望に向かって挑戦する心構えとそれを継続する力を身に付けさせるとともに、これからの都市づくりを担う人材として、地域への誇りと愛着を持ち、多様な人々と主体的・積極的に協働できる社会性を身に付けさせるための教育が必要です。</p> <p>そして、その教育を進めるに当たっては、それぞれの子どもについて、誰一人取り残すことなく、個性・特性を尊重し生かしながら、その能力を最大限に伸ばしていくという使命を教員が十分に果たすことができるよう、働き方改革の推進や教育環境の整備などを通じて、教育システムを再構築することが不可欠です。</p> <p>また、その教育システムは、家庭や学校を中心としつつ、子どもに関わる全ての者がその育成に参加するという「地域共生社会」にふさわしいものにしていく必要があります。</p>	<p>はじめに</p> <p>我が国において、人口減少の下で顕在化してきた労働力不足や地域コミュニティの活力低下、医療・介護・社会保障の負担の増加などの諸課題への対応が待ったなしとなっている中、教育の分野においても、教員の担い手不足や学校の統廃合、外国にルーツを持つ児童生徒の増加、いじめや不登校など多岐にわたる課題への対応が求められています。また、我が国全体の経済活動はもとより、市民生活にも大きな影響を及ぼすまでに進展した情報通信技術、なかでも、人工知能関連技術については、人間の思考という行為を捉え直し、これを人間中心のものとして使いこなしていくことが喫緊の課題となっています。</p> <p>さらに、海外に目を向けると、経済活動等のグローバル化の進展、大規模な自然災害などをもたらす地球温暖化による気候変動、世界各地における紛争の発生・長期化による国際情勢の不安定化など地球規模の課題が深刻化する一方で、自国第一主義がますます広がりを見せる状況下において、人類社会の持続可能性の確保への懸念も高まっています。</p> <p>本市では、国内外におけるこうした状況に的確に対応するために、「平和文化」の普及促進を基調にしつつ、「競争」よりも「協調」を重視する政策へといち早くパラダイム・シフトを図り、周辺の市町と共に「広島広域都市圏」の形成に取り組んできました。また、その中核都市として、あらゆる市民がそれぞれのライフスタイルに合わせて、元気にいきいきと活動することが可能となる生活環境の創出を目指してきました。</p> <p>そして、学校教育についても、「未来を担うこどもの育成こそが、これからの広島の発展の礎となる」との基本的な考えの下、50年・100年先を見据えた大胆なパラダイム・シフトを図り、本市のこどもたちには、取り巻く環境がいかに厳しいものであっても、それを乗り越え、夢や希望に向かって挑戦する心構えとそれを継続する力を身に付けてもらえるようにするための教育が必要であると考えています。</p> <p>そうした教育を進めるに当たっては、こどもがいかなる境遇にあっても自分のやりたいことを見つけ、それに挑戦し続ける力を身に付けさせる教育システムの構築を目指す必要があり、とりわけ、教員がそれぞれのこどもについて、誰一人取り残すことなく、個性・特性を尊重し生かしながら、その能力を最大限に伸ばしていくという使命を十分に果たすことができるようにする必要があります。</p> <p>また、その教育システムは、家庭や学校を中心としつつも、こどもに関わる全ての者が参加できる「地域共生社会」にふさわしいものにしていくとともに、生成A I等の技術革新を十分に使いこなした上で、新たな時代に即応したものにしていく必要もあります。</p>	<p>はじめに</p> <p>我が国において、人口減少の下で顕在化してきた労働力不足や地域コミュニティの活力低下、医療・介護・社会保障の負担の増加などの諸課題への対応が待ったなしとなっている中、教育の分野においても、教員の担い手不足や学校の統廃合、外国にルーツを持つ児童生徒の増加、いじめや不登校など多岐にわたる課題への対応が求められています。また、我が国全体の経済活動はもとより、市民生活にも大きな影響を及ぼすまでに進展した情報通信技術、なかでも、人工知能関連技術については、人間の思考という行為を捉え直し、これを人間中心のものとして使いこなしていくことが喫緊の課題となっています。</p> <p>さらに、海外に目を向けると、経済活動等のグローバル化の進展、大規模な自然災害などをもたらす地球温暖化による気候変動、世界各地における紛争の発生・長期化による国際情勢の不安定化など地球規模の課題が深刻化する一方で、自国第一主義がますます広がりを見せる状況下において、人類社会の持続可能性の確保への懸念も高まっています。</p> <p>本市では、国内外におけるこうした状況に的確に対応するために、「平和文化」の普及促進を基調にしつつ、「競争」よりも「協調」を重視する政策へといち早くパラダイム・シフトを図り、周辺の市町と共に「広島広域都市圏」の形成に取り組んできました。また、その中核都市として、あらゆる市民がそれぞれのライフスタイルに合わせて、元気にいきいきと活動することが可能となる生活環境の創出を目指してきました。</p> <p>そして、学校教育についても、「未来を担うこどもの育成こそが、これからの広島の発展の礎となる」との基本的な考えの下、50年・100年先を見据えた大胆なパラダイム・シフトを図り、本市のこどもたちには、取り巻く環境がいかに厳しいものであっても、それを乗り越え、夢や希望に向かって挑戦する心構えとそれを継続する力を身に付けてもらえるようにするための教育が必要であると考えています。</p> <p>そうした教育を進めるに当たっては、こどもがいかなる境遇にあっても自分のやりたいことを見つけ、それに挑戦し続ける力を身に付けさせる教育システムの構築を目指す必要があり、とりわけ、教員がそれぞれのこどもについて、誰一人取り残すことなく、個性・特性を尊重し生かしながら、その能力を最大限に伸ばしていくという使命を十分に果たすことができるようにする必要があります。</p> <p>また、その教育システムは、家庭や学校を中心としつつも、こどもに関わる全ての者が参加できる「地域共生社会」にふさわしいものにしていくとともに、生成A I等の技術革新を十分に使いこなした上で、新たな時代に即応したものにしていく必要もあります。</p>		

広島市教育大綱改定案

現行大綱	改定素案	改定案	修正意見等
<p>さらに、一層の加速化が懸念される将来の少子化をにらみ、教育システムの中心的な担い手となる公立・私立の学校について、持続可能で質の高い教育を提供し続けることができるよう、広島広域都市圏内における役割分担を踏まえつつ、そのあり方を長期的観点に立って見直すことも必要となっています。</p> <p>こうした基本的な考えの下、総合教育会議において教育委員会と議論を重ね、平成 28 年度に策定した広島市教育大綱を改定し、今後本市が目指す教育の方向性やそれを実現するための教育方針、重点的な取組をとりまとめました。</p> <p>これから令和 7 年度までの間、この大綱に掲げる本市の目指す教育が実現できるよう、学校や教育委員会と共に全力を挙げて取り組んでまいります。</p> <p>広島市長 松 井 一 實</p>	<p>さらに、その教育システムの中心的な担い手となる公立・私立の学校については、少子化が一層加速する状況の中にあっても、広島広域都市圏内における役割分担を踏まえつつ、そのあり方を見直すことにより、持続可能で質の高い教育を提供し続けることができるようにする必要があります。</p> <p>こうした認識の下、総合教育会議においては、義務教育を始めとする公的教育のあり方を改めて問い直すなど、根源的な内容について様々な議論を重ねるとともに、こども自身の思いも汲み取りながら、これまでの広島市教育大綱を改定し、今後本市が目指す教育の方向性やそれを実現するための教育方針、重点的な取組をとりまとめました。</p> <p>これから令和 1 2 年度までの間、この大綱に掲げる本市の目指す教育が実現できるよう、学校や教育委員会と共に全力を挙げて取り組んでまいります。</p> <p>広島市長 松 井 一 實</p>	<p>さらに、その教育システムの中心的な担い手となる公立・私立の学校については、少子化が一層加速する状況の中にあっても、広島広域都市圏内における役割分担を踏まえつつ、そのあり方を見直すことにより、持続可能で質の高い教育を提供し続けることができるようにする必要があります。</p> <p>こうした認識の下、総合教育会議においては、義務教育を始めとする公的教育のあり方を改めて問い直すなど、根源的な内容について様々な議論を重ねるとともに、こども自身の思いも汲み取りながら、これまでの広島市教育大綱を改定し、今後本市が目指す教育の方向性やそれを実現するための教育方針、重点的な取組をとりまとめました。</p> <p>これから令和 1 2 年度までの間、この大綱に掲げる本市の目指す教育が実現できるよう、学校や教育委員会と共に全力を挙げて取り組んでまいります。</p> <p>広島市長 松 井 一 實</p>	

広島市教育大綱改定案

現行大綱	改定素案	改定案	修正意見等
<p>1 本市の目指す教育の方向性</p> <p>本市は、人類史上最初の原子爆弾が投下された都市であり、「<u>ほかの誰にもこんな思いをさせてはならない</u>」という被爆者の願いや世界恒久平和を願う市民の心を基底として、人間の尊厳や生命の尊さを自覚し、自他共に大切にし、正義感や公正さを重んじ、人と自然の共生する平和な社会を築いていく心を育て、自立して行動する力を養うことを教育の原点としています。</p> <p>また、本市は昭和 45 年以来、「国際平和文化都市」を都市像に掲げ、その<u>実現に向けて</u>、共助の精神を基盤とする「地域共生社会」の<u>構築</u>に取り組んでおり、本市の教育においては、それを担う人材の育成といった視点も重要となっています。</p> <p>今後、更なるグローバル化の進展や急速な技術革新、地球規模の課題の深刻化といった国内外の社会環境が変化していく中にあっても、広島の子どもたちが、持続可能な社会の構築に向けて、以下の資質・能力を身に付け、確かな学力、豊かな心、健やかな体をバランスよく備えた「心身共にたくましく思いやりのある人」として成長していくことを目指します。</p> <p>(1) _____本質や根源を探究し、課題解決に向けて論理的・主体的に考え行動する力</p> <p>(2) 平和を希求する心</p> <p>(3) 互いの違いや多様性を理解・尊重し、共生・協働する力</p> <p>(4) 豊かなコミュニケーション能力</p> <p>(5) 自分たちのまちを愛する心</p> <p>2 本市の教育方針</p> <p>本市は、上記 1 の方向性に沿って、家庭、学校、地域が連携・協働しながら、誰一人取り残さない、「豊かで深い学び」による広島らしい教育を実現することで、<u>子どもたちがその可能性を最大限に発揮</u>することができるよう、以下の視点に立って取組を推進します。</p> <p>(1) 一人一人に上記 1 に掲げる資質・能力の基礎・基本を確実に身に付けさせること。</p> <p>(2) 一人一人の個性・特性を尊重し、最大限生かすこと。</p> <p>(3) 一人一人が大切にされるようにすること。</p> <p>こうしたことで、<u>子どもたちが自己肯定感を育み</u>、地域への誇りと愛着を持ち、将来のまちづくりをけん引する存在となることにもつながると考えています。</p>	<p>1 本市の目指す教育の方向性</p> <p>本市は、人類史上最初の原子爆弾が投下された都市であり、「<u>こんな思いは他の誰にもさせてはならない</u>」という被爆者の願いや世界恒久平和を願う市民の心を基底として、人間の尊厳や生命の尊さを自覚し、自他共に大切にし、正義感や公正さを重んじ、人と自然の共生する平和な社会を築いていく心を育て、自立して行動する力を養うことを教育の原点としています。</p> <p>また、本市は昭和 45 年以来、「国際平和文化都市」を都市像に掲げ、その<u>具現化を目指し</u>、共助の精神を基盤とする「地域共生社会」の<u>実現</u>に取り組んでおり、本市の教育においては、それを担う人材の育成といった視点も重要となっています。</p> <p>今後、更なるグローバル化の進展や急速な技術革新、地球規模の課題の深刻化といった国内外の社会環境が変化していく中にあっても、広島の下どもたちが、持続可能な社会の構築に向けて、以下の資質・能力を身に付け、確かな学力、豊かな心、健やかな体をバランスよく備えた「心身共にたくましく思いやりのある人」として成長していくことを目指します。</p> <p>(1) <u>情報を適切に活用しながら</u>、本質や根源を探究し、課題解決に向けて論理的・主体的に考え行動する力</p> <p>(2) 平和を希求する心</p> <p>(3) 互いの違いや多様性を理解・尊重し、共生・協働する力</p> <p>(4) 豊かなコミュニケーション能力</p> <p>(5) 自分たちのまちを愛する心</p> <p>2 本市の教育方針</p> <p>本市は、上記 1 の方向性に沿って、家庭、学校、地域が連携・協働しながら、誰一人取り残さない、「豊かで深い学び」による広島らしい教育を実現することで、<u>こどもたちがその可能性を最大限に発揮</u>することができるよう、以下の視点に立って取組を推進します。</p> <p>(1) 一人一人に上記 1 に掲げる資質・能力の基礎・基本を確実に身に付けさせること。</p> <p>(2) 一人一人の個性・特性を尊重し、最大限生かすこと。</p> <p>(3) 一人一人が大切にされるようにすること。</p> <p>こうしたことで、<u>こどもたちが自己肯定感を育み</u>、地域への誇りと愛着を持ち、将来のまちづくりをけん引する存在となることにもつながると考えています。</p>	<p>1 本市の目指す教育の方向性</p> <p>本市は、人類史上最初の原子爆弾が投下された都市であり、「<u>こんな思いは他の誰にもさせてはならない</u>」という被爆者の願いや世界恒久平和を願う市民の心を基底として、人間の尊厳や生命の尊さを自覚し、自他共に大切にし、正義感や公正さを重んじ、人と自然の共生する平和な社会を築いていく心を育て、自立して行動する力を養うことを教育の原点としています。</p> <p>また、本市は昭和 45 年以来、「国際平和文化都市」を都市像に掲げ、その具現化を目指し、共助の精神を基盤とする「地域共生社会」の実現に取り組んでおり、本市の教育においては、それを担う人材の育成といった視点も重要となっています。</p> <p>今後、更なるグローバル化の進展や急速な技術革新、地球規模の課題の深刻化といった国内外の社会環境が変化していく中にあっても、広島の子どもたちが、持続可能な社会の構築に向けて、以下の資質・能力を身に付け、確かな学力、豊かな心、健やかな体をバランスよく備えた「心身共にたくましく思いやりのある人」として成長していくことを目指します。</p> <p>(1) 情報を適切に活用しながら、本質や根源を探究し、課題解決に向けて論理的・主体的に考え行動する力</p> <p>(2) 平和を希求する心</p> <p>(3) 互いの違いや多様性を理解・尊重し、共生・協働する力</p> <p>(4) 豊かなコミュニケーション能力</p> <p>(5) 自分たちのまちを愛する心</p> <p>2 本市の教育方針</p> <p>本市は、上記 1 の方向性に沿って、家庭、学校、地域が連携・協働しながら、誰一人取り残さない、「豊かで深い学び」による広島らしい教育を実現することで、<u>こどもたちがその可能性を最大限に発揮</u>することができるよう、以下の視点に立って取組を推進します。</p> <p>(1) 一人一人に上記 1 に掲げる資質・能力の基礎・基本を確実に身に付けさせること。</p> <p>(2) 一人一人の個性・特性を尊重し、最大限生かすこと。</p> <p>(3) 一人一人が大切にされるようにすること。</p> <p>こうしたことで、<u>こどもたちが自己肯定感を育み</u>、地域への誇りと愛着を持ち、将来のまちづくりをけん引する存在となることにもつながると考えています。</p>	<p>◎ 体に関するものとして、例えば、「不確実な時代を生き抜く体」あるいは「将来の土台を作る体」を追加してはどうか。</p>

広島市教育大綱改定案

現行大綱	改定素案	改定案	修正意見等
<p>3 重点的な取組</p> <p>本市は、上記2の教育方針の下、次のことを重点的に取り組みます。</p> <p>(1) <u>一人一人の個性・特性を尊重するとともに、知・徳・体のバランスのとれた「生きる力」を育む教育を推進します。</u></p> <p>・ <u>学校教育を通じて、子どもたちが、学力の定着はもとより、全人格的な発達・成長ができるよう、教員による対面授業、子ども同士の学び合いや地域社会での多様な体験活動等の協働的な学びなど、学校ならではの学びを推進する。それと併せて、それぞれの教育段階において、ICTを活用した子どもの学習進度や学習到達度に応じた指導等により、個別最適な学びを推進する。</u></p> <p>・ <u>全ての子どもに基礎的・基本的な知識・技能等を確実に定着させるほか、芸術・文化、スポーツ等において、民間団体や大学等が実施する学校外での学びとの連携や、教育内容の充実など、子どもの才能を伸ばしていくことができる仕組みづくりにも取り組む。</u></p> <p>・ <u>多様な特別支援教育ニーズ、LGBTの子どもの存在などを踏まえ、特別な配慮を必要とする子どもへの支援の充実や環境の改善に取り組む。</u></p> <p>・ 義務教育段階や高等学校教育段階での学習内容の学び直しを含め、生涯にわたっての多様な学習ニーズに応じた学びの機会の提供に取り組む。</p> <p>・ 被爆の実相と復興の歩みを確実に理解させ、平和に関して自分の考えを持ち、それを基に行動できる力を育成する平和教育をより一層推進する。また、自分の言葉で世界に平和を語れるなど、グローバル化に対応した人材を育成するため、英語教育の充実に取り組む。</p> <p>・ 人と自然の共生が重要であるとの視点に立ち、脱炭素社会の構築に向けた環境教育や豪雨災害の教訓も踏まえた防災教育の充実に取り組む。</p>	<p>3 重点的な取組</p> <p>本市は、上記2の教育方針の下、次のことを重点的に取り組みます。</p> <p>(1) 知・徳・体のバランスのとれた「生きる力」を育む教育を推進します。</p> <p>・ <u>全てのこどもが、将来の可能性や選択肢を広げるための土台となる基礎的・基本的な学力・体力を確実に身に付けるとともに、社会性や道徳心を育み、全人格的な発達・成長ができるよう、それぞれの教育段階において、</u> <u>こどもの学習進度や学習到達度に応じた指導等による個別最適な学びと、こども同士の学び合いや地域社会での多様な体験活動等による協働的な学びの一体的な充実に取り組む。</u></p> <p>・ <u>A Iの進化を始めとする急速な技術革新に対応し、必要な情報を科学的な理解に基づいて読み取り目的に合わせて適切に活用する力や、課題解決の方向性を自ら見だし新たな価値を生み出す創造性を育成するため、外部の専門的な知見も利用しながら、ICTを効果的に活用した</u> <u>探究的な学びの充実などに取り組む。</u></p> <p>((4)へ)</p> <p>((2)へ)</p> <p>((2)へ)</p> <p>・ <u>被爆者の高齢化が進む中、被爆の実相と復興の歩みを確実に理解させ、平和に関して自分の考えを持ち、それを基に行動できる力を育成する平和教育をより一層推進する。また、自分の言葉で世界に平和を語れるなど、グローバル化に対応した人材を育成するため、英語教育の充実に取り組む。</u></p> <p>・ 人と自然の共生が重要であるとの視点に立ち、脱炭素社会の構築に向けた環境教育や豪雨災害の教訓も踏まえた防災教育の充実に取り組む。</p>	<p>3 重点的な取組</p> <p>本市は、上記2の教育方針の下、次のことを重点的に取り組みます。</p> <p>(1) 知・徳・体のバランスのとれた「生きる力」を育む教育を推進します。</p> <p>・ 全てのこどもが、将来の可能性や選択肢を広げるための土台となる基礎的・基本的な学力・体力を確実に身に付けるとともに、社会性や道徳心を育み、全人格的な発達・成長ができるよう、それぞれの教育段階において、<u>ICTを効果的に活用しながら、</u>こどもの学習進度や学習到達度に応じた指導等による個別最適な学びと、こども同士の学び合いや地域社会での多様な体験活動等による協働的な学びの一体的な充実に取り組む。</p> <p>・ <u>生成</u>A Iの進化を始めとする急速な技術革新に対応し、必要な情報を<u>的確に</u>読み取り目的に合わせて適切に活用する力や、課題解決の方向性を自ら見だし新たな価値を生み出す創造性を育成するため、外部の専門的な知見も利用しながらICTを効果的に活用し、<u>科学的な理解に基づく</u>探究的な学びの充実などに取り組む。</p> <p>・ 被爆者の高齢化が進む中、被爆の実相と復興の歩みを確実に理解させ、平和に関して自分の考えを持ち、それを基に行動できる力を育成する平和教育をより一層推進する。また、自分の言葉で世界に平和を語れるなど、グローバル化に対応した人材を育成するため、英語教育の充実に取り組む。</p> <p>・ 人と自然の共生が重要であるとの視点に立ち、脱炭素社会の構築に向けた環境教育や豪雨災害の教訓も踏まえた防災教育の充実に取り組む。<u>また、望ましい食習慣を身に付けることができるよう食育をより一層推進する。</u></p>	<p>◎ 体に関するものとして、例えば、「不確実な時代を生き抜く体」あるいは「将来の土台を作る体」を追加してはどうか。</p> <p>○ こどもアンケートにおいて、ICTの活用についての意見があった。(参考資料を参照)</p> <p>◎ 生成A Iを使う場合に、著作権などルール、盗作をしない、フェイクにも引っかけられないということに関して、「適切に活用するリテラシー能力」としてはどうか。</p> <p>◎ 「科学的な理解に基づいて」という表現は、情報の読み取りだけに必要なものでなく、科学的観点から情報を見極め、考え探究し行動してほしいという思いから、「科学的な理解に基づいて、探究的な学びの充実などに取り組む」としてはどうか。</p> <p>○ こどもアンケートにおいて、食育についての意見があった。(参考資料を参照)</p>

広島市教育大綱改定案

現行大綱	改定素案	改定案	修正意見等
	<p>(2) <u>こどもたち一人一人がその個性・特性を尊重され、障害の有無や性別、国籍の違いなどに関わらず社会の一翼を担う人材へと成長していくことができるよう、インクルーシブな教育の視点も取り入れた学びの場の提供に取り組めます。</u></p>	<p>(2) こどもたち一人一人がその個性・特性を尊重され、障害の有無や性別、国籍の違いなどに関わらず社会の一翼を担う人材へと成長していくことができるよう、インクルーシブな教育の視点も取り入れた学びの場の提供に取り組めます。</p>	
((4)から)	<ul style="list-style-type: none">いじめや不登校の未然防止に向けて、<u>認め合い、支え合うことができる支持的風土の醸成</u>された学級づくりなどの予防的な生徒指導の充実や、教育相談体制の強化、家庭や地域などの関係者が一体となった取組を推進する。	<ul style="list-style-type: none">いじめや不登校の未然防止に向けて、認め合い、支え合うことができる支持的風土の醸成された学級づくりなどの予防的な生徒指導の充実や、教育相談体制の強化、家庭や地域などの関係者が一体となった取組を推進する。	
((4)から)	<ul style="list-style-type: none">いじめや不登校に組織的かつ適切に対応するため、心理や福祉等の専門性を持ったスタッフを拡充するとともに、いじめ見逃しゼロを目指した積極的な認知や保護者との密接な連携、<u>組織的な対応力の向上</u>などによるいじめや不登校の早期発見・早期対応に取り組む。	<ul style="list-style-type: none">いじめや不登校に組織的かつ適切に対応するため、心理や福祉等の専門性を持ったスタッフを拡充するとともに、いじめ見逃しゼロを目指した積極的な認知や保護者との密接な連携、組織的な対応力の向上などによるいじめや不登校の早期発見・早期対応に取り組む。	
((4)から)	<ul style="list-style-type: none">不登校のこどもの多様な実態を踏まえ、N P Oや民間教育事業者等と連携し相互に協力・補完し合いながら、不登校のこどもの学びの機会の確保や居場所づくり等の取組を推進するとともに、I C Tを活用し<u>授業を配信するなどの柔軟な対応による学びの保障</u>に取り組む。	<ul style="list-style-type: none">不登校のこどもの多様な実態を踏まえ、N P Oや民間教育事業者等と連携し相互に協力・補完し合いながら、不登校のこどもの学びの機会の確保や居場所づくり等の取組を推進するとともに、I C Tを活用し授業を配信するなどの柔軟な対応による学びの保障に取り組む。	
((1)から)	<ul style="list-style-type: none">多様な特別支援教育ニーズにきめ細かく対応するとともに、<u>性的マイノリティのこども、外国にルーツのあるこども</u>など、様々な個性や特性を有するこどもに寄り添った指導・支援の充実や環境の改善に取り組む。	<ul style="list-style-type: none">多様な特別支援教育ニーズにきめ細かく対応するとともに、性的マイノリティのこども、外国にルーツのあるこどもなど、様々な個性や特性を有するこどもに寄り添った指導・支援の充実や環境の改善に取り組む。	
((1)から)	<ul style="list-style-type: none">義務教育段階や高等学校教育段階での学習内容の学び直しを含め、生涯にわたっての多様な学習ニーズに応じた学びの機会の提供に取り組む。	<ul style="list-style-type: none">義務教育段階や高等学校教育段階での学習内容の学び直しを含め、生涯にわたっての多様な学習ニーズに応じた学びの機会の提供に取り組む。	
((3)から)	<ul style="list-style-type: none">経済面や家庭環境等に課題を抱える<u>こども</u>を、福祉制度をはじめ、社会全体で<u>支える仕組みに確実に</u>つなげることができるよう、関係機関との連携強化を図りながら支援に取り組む。<u>よりよい環境で教育を受けることができるよう、学校施設の老朽化対策や</u>通信環境の改善<u>などに取り組む。</u>	<ul style="list-style-type: none">経済面や家庭環境等に課題を抱えるこどもを、福祉制度をはじめ、社会全体で支える仕組みに確実につなげることができるよう、関係機関との連携強化を図りながら支援に取り組む。よりよい環境で教育を受けることができるよう、学校施設の老朽化対策や暑さ対策、通信環境の改善などに取り組む。	◎ 夏の暑さ対策も大切ではないか。

広島市教育大綱改定案

現行大綱	改定素案	改定案	修正意見等
<p>(2) <u>大学等と連携しながら、高い意欲と能力を持つ教員の養成・確保を図るとともに、教員が教育活動を行う上で、学校がやりがいと魅力のある場となるよう、学校における働き方改革をより一層推進します。</u></p> <p>・ <u>教員志望者の増加を図るため、教員養成段階から学生に教育現場におけるやりがいと魅力が伝わるよう、積極的な情報発信に取り組む。</u></p> <p>・ <u>時代の変化への教員の対応力を高めるため、ＩＣＴを活用した指導力や、探究心を持ちつつ新しい知識・技能を学び続ける力などの向上を図る。</u></p> <p>・ <u>子どもに向き合う時間を確保し、総合的な指導を持続的に行うことができる学校教育体制の構築を図るため、学校における働き方改革を更に推進する。</u></p>	<p>(3) <u>全ての教員が、常に学び成長し続けることができるとともに、いきいきと教育に携わることができるよう持続可能な教職員体制を確保</u>します。</p> <p>・ <u>教員としての使命感や責任感・教育的愛情を絶えず持ち続けるとともに、ＩＣＴを効果的に活用した指導力や、探究心を持ちつつ新しい知識・技能を学び続ける力など必要な資質の向上を図る。</u></p> <p>・ <u>こどもに向き合う時間を確保し、「こどもたちにより良い教育を提供する」という教育の質の向上を目指すことに軸足を置いた学校における働き方改革を推進する。</u></p> <p>・ <u>教職員が心身ともに健康で安心して教育活動を行うことができるよう、多様な支援スタッフの拡充や、メンタルヘルス対策の充実、経験年数が短いなどの教職員へのサポート体制の強化などに取り組む。</u></p> <p>・ <u>教員志望者の増加を図るため、大学等と連携しながら、教員養成段階にある学生はもとより、多様な人材も教員を志望することにつなげるため、教員のやりがいと魅力が伝わるよう、積極的な情報発信など</u>に取り組む。</p>	<p>(3) 全ての教員が、常に学び成長し続けることができるとともに、いきいきと教育に携わることができるよう持続可能な教職員体制の構築を推進します。</p> <p>・ 教員としての使命感や責任感・教育的愛情を絶えず持ち続けるとともに、ＩＣＴを効果的に活用した指導力や、探究心を持ちつつ新しい知識・技能を学び続ける力など必要な資質の向上を図る。</p> <p>・ こどもに向き合う時間を確保し、「こどもたちにより良い教育を提供する」という教育の質の向上を目指すことに軸足を置いた学校における働き方改革を推進する。</p> <p>・ 教職員が心身ともに健康で安心して教育活動を行うことができるよう、多様な支援スタッフの拡充や、メンタルヘルス対策の充実、経験年数が短いなどの教職員へのサポート体制の強化などに取り組む。</p> <p>・ 教員志望者の増加を図るため、大学等と連携しながら、教員養成段階にある学生はもとより、多様な人材も教員を志望することにつなげるため、教員のやりがいと魅力が伝わるよう、積極的な情報発信など</p>	<p>◎ 「教職員体制を確保します」という表現が「質の高い教員を育てます」など、もう少し能動的な表現にならないか。</p>

広島市教育大綱改定案

現行大綱	改定素案	改定案	修正意見等
<p>(3) <u>子どもに関わる全ての人が連携・協働し、様々な境遇にある子どもの学びを支え、進める「ひろしま型チーム学校」の体制や取組を強化するとともに、まちづくりにつながる教育に取り組めます。</u></p> <p>・ 将来の地域社会を担う生き方や働き方についての考えを深めることができるようなキャリア教育システムの確立も視野に入れつつ、地元企業等での職場体験など、産業界と一体となった教育の充実を図る。</p> <p>・ 地域の文化、伝統、自然について学びながら、地域社会を構成する一員としての自覚を高め、将来のまちづくりを担う力や利他の心を育むため、子どもたちの地域行事や地域貢献活動への積極的な参加を促すとともに、よりよい地域社会の担い手として育っていけるよう、社会性や道徳心のかん養に取り組む。</p> <p>・ 経済面や家庭環境等に課題を抱える子どもを、福祉制度をはじめ、社会全体で支援する仕組みに確実につなげることができるよう、関係機関との連携強化を図る。</p> <p>((1)から)</p> <p>(4) <u>いじめ対策については、「いじめを生まない支持的風土」の醸成などによる未然防止や、早期発見と組織的な対応に取り組めます。また、不登校対策については、個々の子どもの状況に応じた適切な支援に取り組めます。</u></p> <p>・ いじめの未然防止に向けて、予防的な生徒指導の充実や教育相談体制の強化、家庭や地域などの関係者が一体となった取組を推進する。</p> <p>・ いじめや不登校に組織的かつ適切に対応するため、心理や福祉等の専門性を持ったスタッフを拡充するとともに、いじめ見逃しゼロを目指した積極的な認知や保護者との密接な連携などによるいじめの早期発見を進める。</p> <p>・ 学校がNPOや民間教育事業者等と連携し、相互に協力・補完し合いながら、不登校の子どもの学びの機会の確保や居場所づくり等の取組を推進する。</p> <p>・ 学校で学びたくても学べない子どものために、遠隔・オンライン教育を活用するなど、ICTを活用した学びの保障に取り組む。</p>	<p>(4) <u>こどもに関わる全ての人が連携・協働し、こどもの学びを支えとともに、まちづくりにつながる教育に取り組めます。</u></p> <p>・ <u>学校運営協議会などを活用しながら、地域人材の学校運営への参画による教育活動の充実や学校を核とした地域の活性化を図る。</u></p> <p>・ 将来の地域社会を担う生き方や働き方についての考えを深めることができるよう、地元企業等での職業体験など、地域や産業界と一体となつて発達段階に応じたキャリア教育の充実を図る。</p> <p>・ 地域の文化、伝統、自然について学ぶことや、地域行事や地域貢献活動への積極的な参加を促すことなどにより、地域社会を構成する一員としての自覚を高め、将来のまちづくりを担う力の育成に取り組む。</p> <p>・ <u>自分の将来を主体的に考え設計できるよう、進学や就職、結婚、妊娠・出産・子育てなど、ライフイベントに関する学校内外での学びの機会の充実を図る。</u></p> <p>((2)へ)</p> <p>・ 芸術・文化、スポーツ等において、民間団体や大学等が実施する学校外での学びとの連携などにより、こどもの才能を伸ばしていくことができる仕組みづくりにも取り組む。</p>	<p>(4) こどもに関わる全ての人が連携・協働し、こどもの学びを支えとともに、まちづくりにつながる教育に取り組めます。</p> <p>・ 学校運営協議会などを活用しながら、地域人材の学校運営への参画による教育活動の充実や学校を核とした地域の活性化を図る。</p> <p>・ 将来の地域社会を担う生き方や働き方についての考えを深めることができるよう発達段階に応じたキャリア教育を推進するため、地元企業等での職業体験など、地域や産業界と一体となつた取組の充実を図る。</p> <p>・ 地域の文化、伝統、自然について学ぶことや、地域行事や地域貢献活動への積極的な参加を促すことなどにより、地域社会を構成する一員としての自覚を高め、将来のまちづくりを担う力や利他の心の育成に取り組む。</p> <p>・ 多様な価値観や生き方を認めつつ自分の将来を主体的に考えライフデザインの可能性を広げることができるよう、進学、就職、結婚、妊娠・出産・子育てなどのライフイベントや生涯を見通した資金計画などについて、専門人材も活用した学校内外での学びの機会の充実を図る。</p> <p>・ 芸術・文化、スポーツ等において、民間団体や大学等が実施する学校外での学びとの連携などにより、こどもの才能を伸ばしていくことができる仕組みづくりにも取り組む。</p>	<p>◎ 職業体験のみがキャリア教育であると誤解されるおそれがあるのではないかと考えるため、現行大綱のような表現の方がよいのではないか。</p> <p>◎ 「利他の心」、「道徳心」という表現を残してはどうか。</p> <p>◎ ライフデザインは多様な価値観に基づくものであることに配慮する表現が必要である。また、ライフイベントについて学ぶというよりはこどもたち自らが意思決定しながら人生を切り開いていくという表現がよいのではないかと考えるため、「自分の将来を主体的に考え、設計できるよう」の次に「多様な価値観や生き方を認めつつ」を加筆し、「進学や就職、結婚、妊娠・出産・子育てなど」の次を「ライフデザイン又はライフコースの可能性が広がるような学びの機会の充実を学校内外で図る」としてはどうか。</p> <p>◎ (ライフデザインの項目について)「学びの充実」を強調するのであれば、(1)に位置付けてもよいのではないか。</p> <p>○ こどもアンケートにおいて、お金に関する教育についての意見があった。(参考資料を参照)</p>

広島市教育大綱改定案

現行大綱	改定素案	改定案	修正意見等
<p>(5) <u>今後の少子化を見据え、教育段階ごとに公立・私立、県・市の役割分担等を図り、持続可能な提供体制の構築に取り組むことで、質の高い教育を推進します。また、児童生徒数が増加傾向にある小・中学校や特別支援学校の教育環境の改善に取り組めます。</u></p> <p>・ 幼児教育については、<u>幼児教育と保育の一体的な質の向上を図るとともに、持続可能な提供体制としていくため、公立園と私立園の特性を踏まえた役割分担を図る。</u></p> <p>・ 義務教育については、<u>公立校を中心とした提供体制の下、学校の地域コミュニティの核としての位置付けも踏まえながら、教育面の課題解決に向けて、適正配置に努める。また、児童生徒の増加が続いている学校については、必要な教室の増設のほか、通学区域の弾力化など、ハード・ソフト両面からの教育環境の改善に取り組む。</u></p> <p>・ 高等学校教育については、<u>更なる少子化の進展を見据え、県・市の役割分担の下、多様なニーズに応じた受入体制のあり方の検討や普通科の特色化・魅力化に取り組む。</u></p> <p>・ 特別支援学校については、<u>県と連携を図りながら、就学区域の見直しや学校の新設を含め、広島広域都市圏全体を見据えた学校体制のあり方を検討する。</u></p> <p>4 対象期間 令和 3 年度から令和 7 年度まで</p>	<p>(5) <u>未来を見据え、持続可能な教育の提供体制の再構築に取り組めます。</u></p> <p>・ 幼児教育については、<u>小学校教育との円滑な接続の推進など、幼児教育と保育の一体的な質の向上を図るとともに、持続可能な提供体制としていくため、公立園と私立園の特性を踏まえながら、少子化等に伴う需要減に適切に対応する。</u></p> <p>・ 義務教育については、公立校を中心とした提供体制の下、学校の地域コミュニティの核としての位置付けも踏まえながら、<u>少子化に伴う教育面の課題解決に向けて、適正配置に努める。</u></p> <p>・ 高等学校教育については、<u>これから少子化の影響が本格的に及んでいくことが見込まれる中、公立・私立それぞれの学校の独自性や担ってきた役割も踏まえつつ、必要に応じて市立学校の定員調整を行うとともに、一人一人のニーズに応じた多様な学びの選択肢を提供し続けるという視点を持って、将来的な学校体制のあり方を検討する。</u></p> <p>・ 特別支援学校については、<u>児童生徒数の推移を見極めつつ、市立学校の環境改善に取り組むとともに、県と連携を図りながら、就学区域の見直しや学校の新設を含め、広島広域都市圏全体を見据えた将来的な学校体制のあり方を検討する。</u></p> <p>4 対象期間 令和 8 年度から令和 12 年度まで</p>	<p>(5) 未来を見据えた持続可能な教育の提供体制の再構築に取り組むことで、<u>質の高い教育を推進します。</u></p> <p>・ 幼児教育については、小学校教育との円滑な接続の推進など、幼児教育と保育の一体的な質の向上を図るとともに、持続可能な提供体制としていくため、公立園と私立園の特性を踏まえながら、少子化等に伴う需要減に適切に対応する。</p> <p>・ 義務教育については、公立校を中心とした提供体制の下、学校の地域コミュニティの核としての位置付けも踏まえながら、少子化に伴う教育面の課題解決に向けて、適正配置に努める。</p> <p>・ 高等学校教育については、これから少子化の影響が本格的に及んでいくことが見込まれる中、公立・私立それぞれの学校の独自性や担ってきた役割も踏まえつつ、一人一人のニーズに応じた多様な学びの選択肢を提供し続けるために、<u>市立学校としての特色化・魅力化に取り組むとともに</u>将来的な学校体制のあり方を検討する。</p> <p>・ 特別支援学校については、児童生徒数の推移を見極めつつ、市立学校の環境改善に取り組むとともに、県と連携を図りながら、就学区域の見直しや学校の新設を含め、広島広域都市圏全体を見据えた将来的な学校体制のあり方を検討する。</p> <p>4 対象期間 令和 8 年度から令和 12 年度まで</p>	<p>◎ 「質の高い教育を推進する」という目的を加筆してはどうか。</p> <p>◎ 「定員調整」は具体的な施策の推進であり、大綱に記載するまでではないのではないか。</p> <p>◎ 「特色化・魅力化」という前向きな表現は残した方がよいのではないかと。</p>